

**生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター板屋
担当圏域レベル）開催報告書**

1 開催日時	令和 6 年 10 月 28 日（月） 10 時 00 分 ～ 11 時 30 分
2 開催場所	福祉交流センター 43・44ギャラリー
3 参加者	32名
委員21名、関係機関9名、その他2名	
4 協議の内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 板屋圏域生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3. 協議内容について</p> <p>① 昨年度の振り返り</p> <p>丸塚中学校への認知症講座報告</p> <p>講座実施のきっかけとしては板屋圏域協議体でのグループワークで認知症高齢者の増加が課題としてあがったこと。認知症の方でも安心して暮らせるまちをつくりたい！地域の子どもたちにも認知症について知ってもらおう！と丸塚中学校の1年生に認知症講座を行うことになった。</p> <p>当日は、包括支援センター板屋の職員が包括センターあんまのスタッフと協働で講義・寸劇・グループワークを実施し、生徒のみなさんが熱心に受講してくれた。</p> <p>② 浜松商店界連盟の取り組みについて</p> <p>浜松商店界連盟で行っている取り組みについて紹介。時代の変化とともにイベント運営を主におくのではなく、防犯・防災に力を入れるようになった。</p> <p>浜松商店界連盟では障がいのある人や認知症の人がまちなかで行方不明になったときに、SNSを使って情報発信する支援ネットワークの仕組みがあり、実際に行方不明になった際の事例も話してもらった。その他にも防犯カメラを用いた行方不明者の捜索など、人の多いまちなかならではの見守りについて情報提供していただいた。</p> <p>③ ふれあい交流センターの取り組みについて</p> <p>ふれあい交流センター板屋館長よりふれあい交流センターの施設やイベント紹介をしてもらった。</p> <p>④ ときわ薬局の取り組みについて</p> <p>10月より移転し55坪の広い店舗となり、これを地域の人に使ってもらうべくコミュニティスペースとして展開していくことになった。今後は、「地域に根差し、街づくりに参画する薬局」として、医療介護福祉に関する情報の定期発信（専門職向け、地域住民向け）やコミュニティスペースでのセミナー・サロン(相談会)の定期開催を検討している。</p>

4. グループワーク

4地区に分かれてグループワークを実施し意見交換を行った。

5. 連絡事項

次回会議：令和7年1月24日（金）14：00～ アイミティ浜松ホール

6. 閉会 板屋圏域生活支援体制づくり協議体副会長

5 今後の見通し・

必要な対応

認知症の人にも優しいまちづくりをテーマに協議体会議を実施。協議体のグループワークにて小中学生に対しても認知症の啓発をしていきたいと意見があったことから圏域内の小学校、中学校への認知症講座を実施した。また、地域に住む人たちが集える場づくりとして情報提供を行い、認知症を学ぶ機会を増やしていく可能性について考えることができた。今後、「認知症を知る」さまざまな展開方法を検討していきたい。